園　だ　よ　り

2023年７月３日
末長こぐま保育園
辻　敦美

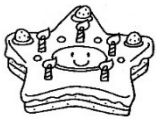
まだまだ梅雨のお天気が続いていますが、晴れ間が覗いた日にはとても気温が高くなり、夏の訪れを感じるようになりました。梅雨と夏の合間の時期ですので、よく眠れない、食欲が落ちるなど不調になるお子さんもいるかもしれません。これからの暑さに負けない体を作るためにも、睡眠や休息をしっかりとっていきましょう。園でも、水遊びが始まりますので、より一層子どもたちの体調管理や変化を見落とさず、快適に心地よく過ごせるよう努めてまいります。そして、笑顔が溢れる毎日を送れるよう職員全員で力を合わせ、保育をしていきたいと思います。

子どもたちの歌声から感じること

毎日蒸し暑く過ごしにくい日が続き梅雨明けを心待ちにしていますが、お部屋から聞こえてくる子どもたちの歌声から元気と癒しをもらい、爽やかな気持ちで過ごすことができています。乳児クラスでは、保育士が手遊びやペープサートを用いて歌い、また、絵本を見せながらCDをかけて歌い始めると、体でリズムをとったり、手を動かしたり、そして、耳に残るフレーズを口ずさむなど、その子それぞれの表現の仕方で楽しむ姿がみられます。幼児クラスの今月の季節の歌は、「にゃにゅにょのてんきよほう」。私は以前からこの歌がお気に入りで、特に「にゃん！」とねこの鳴きまねをするところが何ともいえない可愛さで、聞いていてほっこりするのです。あるコラムで、子どもが明確に歌と呼べるものを歌うようになるのはおおむね１歳を過ぎた頃からで、それ以前にも赤ちゃんはリズミカルに頭と心で感じ歌っているそうです。たしかに、こちらが歌う声を耳にすると表情がかわり、手足や体を動かして楽しむことで歌っているのでしょうね。そして、誰かと一緒に歌うことは、人と呼吸を合わせる心地よさや人との繋がりなどを味わい、社会性を育むことに大きな役割を果たすといわれていると記してありました。子どもたちは、乳時期に様々な音楽やリズムを耳にすることで自然と体を動かす経験をし、楽しい気持ちをこうした方法で表現することの喜びを味わい、そこを土台にして幼児期にはいると、友だちと一緒に歌うことの楽しさを経験するとともに、一体感を味わうことの喜びを感じるなど、まさに、人と呼吸を合わせる心地よさにつながるのではないかと思います。これからも、子どもたちが感じた思いを自由に表現する楽しさを味わえるよう、音楽に関わる活動を豊かにし、そして、子どもたちと一緒に呼吸を合わせながら歌う心地よさをたくさん感じていきたいと思います。来月も子どもたちの歌声を愛おしく思いながら、毎日耳をすまして聞きたいと思います。

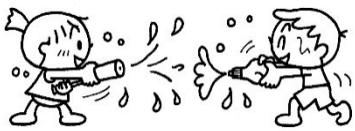
～今月の行事予定～

３日（月）	幼児集会
７日（金）	園医健診
	英語で遊ぼう（幼児クラス）
１４日（金）	避難訓練
１９日（水）	花の美保育室と交流保育
	なつまつり
２０日（木）	なつまつり
２１日（金）	英語で遊ぼう（幼児クラス）
２５日（火）	あそびの広場
２７日（木）	誕生会



☆なつまつりについては、先月配布しましたお手紙をご覧ください。

～お知らせ～

下着（パンツ）の貸し出しについて

今月より、園の下着（パンツ）を貸し出しする際、衛生面を考慮し、未使用品をご用意し対応させていただきますので、借りた方は同じサイズの未使用の下着をご返却いただきますようお願いいたします。お貸しした下着（パンツ）は、ご家庭でご利用ください。返却は、ご準備ができ次第でかまいません。何卒、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。